

# 2022年度事業報告

## 1 児童虐待防止シンポジウム開催事業

2022年改正児童福祉法の内容と課題を共有することを目的に、2022年9月に「子どもの権利擁護を目指す『2022年改正児童福祉法』について」を開催した。また、近年の法改正では虐待予防に向け、地域の民間団体との連携が重要になっていることを受けて、「児童虐待防止における民間団体の役割～自治体との連携をすすめるために」をテーマに、2023年2月に開催した。いずれのシンポジウムもオンラインを活用した。行政関係者や専門職、民間団体に加えて一般市民の視聴も多く、アンケート結果では、9割以上の参加者が「満足」と回答し、今後もこうしたシンポジウムを望む声が多く寄せられた。

### ◆ 第32回シンポジウム

- テーマ : 子どもの権利擁護を目指す「2022年改正児童福祉法」について
- 日時・会場 : 2022年9月24日(土) オンライン開催(Zoomウェビナー)
- 参加者 : 視聴参加 約650名、オンデマンド配信視聴 530名
- 内容 : 基調講演、報告、および質疑応答、意見交換

### ◆ 第33回シンポジウム

- テーマ : 「児童虐待防止における民間団体の役割～自治体との連携を進めるために」
- 日時・会場 : 2023年2月23日(木・祝) オンライン開催(Zoomウェビナー)
- 参加者 : 視聴参加 約600名、オンデマンド配信視聴 200名
- 内容 : 基調講演、報告、および質疑応答、意見交換

## 2 児童虐待防止啓発活動事業

社会全体の子ども虐待防止に対する意識の向上と虐待の予防、早期発見・対応の充実を図るために、行政をはじめ、関係団体、企業等との協力を得ながら、啓発活動及びソーシャルアクションを行った。オレンジリボンの配布活動、支援団体とのイベントの共催、ポスターコンテスト、鎮魂集会の実施、学生によるオレンジリボン運動、ホームページの活用等、子ども虐待防止のためのオレンジリボン運動を幅広く実施した。

### ◆ 春のオレンジリボンキャンペーン

児童福祉週間(5月)を中心に全国の個人サポーターおよび支援企業・団体に対して、ポスター掲出とSNSでのオレンジリボン運動啓発の協力を呼びかけた。ポスターは680枚を提供し、協力をいただいた。また、ホームページでも春のオレンジリボンキャンペーンについて掲載し、11月の虐待防止月間のみならず市民の参加意識を高められるよう努めた。

- 実施時期 : 2022年4月～5月
- 内容 : オレンジリボンの着用、ポスター掲出とSNSでの告知の呼びかけ等、広報啓発活動を実施した。

### ◆ オレンジリボンフォーラム

「子どもと子育てにやさしい社会が虐待のない社会を作る」をコンセプトとして、オレンジリボンフォーラムを共催、実施した。

- テーマ : 「オレンジリボンフェスタ2022 in あまがさき」～出会って、笑って、つながって！
- 日時・会場 : 2022年11月6日(日) ひと咲きプラザ(兵庫県尼崎市)・同時ライブ配信
- 参加者 : 約2,500人
- 内容 : 兵庫県尼崎市を拠点とする地元実行委員会との共催により、オレンジリボンフォーラムを開催した。当日は、新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮したうえで、遊べる学べるブースやステージ上では合唱や劇のパフォーマンス等が行われ、来場した親子に楽しい時間を提供することができた。地域の民間団体が連携することで、地域全体で子育て世代を支えていく意識の向上と虐待予防につなげることができた。

### ◆ オレンジリボンポスターコンテスト

一般市民への啓発を目的に、全国から子ども虐待防止のポスターデザインを募集し、オレンジリボン運動のポスターを作成した。また、参加団体・企業と共にオレンジリボン運動ポスター約10,000枚を掲出した。

- 実施時期 : 募集…12月～5月、選考6月、表彰式…7月31日 文京スカイホール(東京都)
- 内容 : 最優秀賞1名、優秀賞1名、オレンジリボンサポーター賞1名、ユース最優秀賞1名、ユース優秀賞2名、企業賞/団体賞を設定し、美術系の専門学校・大学・高校等を中心に広く応募を呼び掛けた。応募総数484作品(一般部門373点、ユース部門111点)の作品が集まり、各賞が選定された。表彰式は3年ぶりに開催した。
- 選考したデザインよりポスター・チラシ等を作成し、関係機関等に配布・活用を通じて虐待防止の啓発につなげた。



<最優秀賞>



<優秀賞>



<オレンジリボンサポーター賞>



<ユース最優秀賞>

◆ グッズ作成・配布

オレンジリボングッズに、布製リボンバッジを追加した。11月を中心に組織ぐるみでの啓発活動として着用されるケースが多くみられ、好評であった。また昨年度に引き続き、除菌ウェットティッシュも配布用として広く活用され、用意していた在庫はすべてなくなった。他のグッズについても一年を通して、オレンジリボン啓発活動に広く活用された。また、啓発ツールとして、チラシ、ポスター、啓発冊子等を作成・配布し、啓発を行った。

＜主なグッズ頒布数推移＞

グッズ	2021年度	2022年度
オレンジリボンバッジ	8,841	10,138
安全ピン型オレンジリボンバッジ	1,072	966
今治ハンカチタオル	2,628	1,984
クリアファイル	3,522	2,182
ボールペン	2,818	4,698
ネックストラップ	2,631	2,061
除菌ウェットティッシュ	3,333	4,000



◆ 全国一斉オレンジリボン街頭配布

児童虐待防止推進月間中に実施するイベントとして、全国各地で支援企業/団体の協力による啓発ツールの配布等、オレンジリボン運動の啓発活動を行った。

- 実施時期：2022年11月を中心に実施
- 内容：配布対象を全国の不特定の一般の方々とし、マスク23万枚、チラシ9.5万枚を配布するとともに、のぼり旗やポスター1120枚を掲出するなどして、啓発活動を行った。今年度の配布活動は昨年を引き続き、コロナ感染症拡大予防の対策をしながらの実施を心がけ、子ども虐待防止の啓発を行った。
- 一斉配布協力企業・団体数：163企業・団体



◆ 虐待で命を落とした子どもの鎮魂集会

子ども虐待によって失われた子どもの命を悼み、子ども虐待防止を啓発することを目的に鎮魂集会を会場で開催、同時ライブ配信も行い、会場へ来られない全国の方々にも視聴参加していただき、参加者一同で子どもたちへの追悼の思いを込め、子ども虐待防止について考えを深める場とした。今年度は「鎮魂の行進」を4年ぶりに実施することができた。

- 日時・会場：2022年11月27日(日) 銀座プロッサム中央会館・同時ライブ配信
- 参加者：来場者250名、オンライン参加(YouTube Live 視聴回数):303回
- 内容：第20回子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会

- 第1部：虐待死した子どもの名前を読み上げ、参加者全員で黙祷を捧げた。
- 第2部：講演「生い立ち関係なく、誰でも好きなじぶんになれる！」 田中れいか氏  
トークセッション 田中れいか氏、長岡絢氏、渡部暁恵氏
- 第3部：子ども虐待防止を訴える「鎮魂の行進」



◆ 学生によるオレンジリボン啓発活動

厚生労働省や関係機関の協力の下、「学生によるオレンジリボン運動」について、社会福祉士養成校など全国の大学等に呼びかけ、64校の参加登録があった。登録校には啓発ツール一式をサンプルとして提供した。また、オンラインにて報告会(以下に詳細)を開催した。

- 【報告会】
- 日時・会場：2023年2月19日(日) オンライン開催
- 参加者：発表校:4校 視聴回数:232回
- 内容：「学生によるオレンジリボン運動」報告会

報告会にエントリーした7校が発表動画を制作し、この中から代表して4校が制作動画による活動報告を行った。各校からの質疑、応答の時間では活発な意見交換がなされお互いの素晴らしい点を讃え、さらなる学びに繋げていく若者らしさが存分に感じられる報告会となった。ゲストとして、厚生労働省、支援企業の西武ライオンズ株式会社にご参加いただき、コメントをいただいた。



◆ オレンジリボン情報交換会

支援企業・団体を対象に、児童虐待防止に関する情報提供およびオレンジリボン運動に携わる関係者同士の交流を目的とした情報交換会をオンラインにて実施した。

- 日時 : 2022年9月5日(月) オンライン開催、オンデマンド配信
- 参加者 : 支援企業・団体 約40名 オンデマンド配信 86名
- 内容 :
  - ・講演: こども家庭庁創設とこども基本法について  
(内閣官房こども家庭庁設立準備室内閣審議官 長田浩志氏)
  - ・オレンジリボン運動 昨年度の活動報告  
支援企業: 株式会社タックルベリー、株式会社朝日リビング  
支援団体: みしま子育てネット
  - ・オレンジリボン運動活動報告 (児童虐待防止全国ネットワーク)
  - ・各グループに分かれ情報交換・交流 (Zoomブレイクセッション)



◆ 市民ミーティング

主に個人サポーターに参加を呼びかけ、市民目線で子ども虐待防止のために私たちが一人ひとりに何ができるか、グループディスカッションを行い、参加者同士で意見を交換し、考える場とした。

- 日時 : 2022年8月19日(金)、20日(土) オンライン開催  
2022年12月3日(土) 会場開催: 日本教育会館(東京都千代田区)
- 参加者 : 個人サポーター他 延べ66人
- 内容 :
  - ・オレンジリボン運動の活動内容の紹介や過去の虐待死事件をふまえ、虐待防止の現状や要因、虐待とつけについて、基本的な考え方を参加者に説明した。
  - ・グループに分かれ、「虐待の事件をとおして思うこと」「虐待の事件をとおして自分、私たちにできること」について、ディスカッションし、それぞれの想いを言葉にもらった。



3 目的を同じくする団体との連携事業

◆ イベント等共催事業

子ども虐待防止活動を全国に広げるため、各地の支援団体が実施するイベントに対し、企画・広報等の支援および開催費用の一部を負担する共催事業を実施した。全国の支援団体に協力を募り、16団体がイベントを開催した。

- 実施時期 : 2022年度中
- 内容 : 各団体がイベント内でオレンジリボン運動の啓発活動を展開し、一般市民の方々がイベントに参加することで、子ども虐待防止のメッセージを理解していただく機会となった。

支援団体名	イベント内容
地域ひといき	映画「うまれる」他上映会
ハーレーサンタCLUB	Xmas トイラン
星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ	第8回星槎箱根フェスティバル
みしま子育てネット	オレンジリボンフェスタ2022 in Osaka ここせつつ
特定非営利活動法人子どもの育ちを応援する会	charityマルシェ フォー オレンジリボン2022
一般社団法人ANDMAMACO	MAMACOオレンジリボンフェスタ(湘南・仙台)
なかべこども家庭支援センター「紙風船」	下関オレンジリボンアクション2022
オレンジゴスペル	オレンジゴスペルコンサート2022
CFRびわこ	第13回CFRびわこ びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー
一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク	北海道から沖縄までつなぐオレンジリボン・クリスマス音楽祭
特定非営利活動法人和歌山子どもの虐待防止協会	YouTube配信とオレンジリボン人文字ライトアップなど
児童家庭支援センター シャローム	日高市市民まつり、クラシックライブなど
とちぎヒーロー愛好会	オレンジリボンファミリーコンサート
Ibuki Music Associates	第3回オレンジリボンフェス「ファミリア」コンサート
交流ぶらすかい	ひまわり畑ライブ&マルシェ他
美作圏域児童家庭支援センターつむぎ	みんなであつむぐオレンジリボンフェスタ2022 Smile to Child



◆ 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)との連携

2023年12月10日～11日に開催された「第28回学術集会ふくおか大会」で、資料配布用のオレンジリボン不織布バッグを提供し協力した。